

清水衆院議員 中央市場で早朝宣伝

「もっと頑張らんかい」熱い激励



清水忠史衆院議員は22日早朝より、大阪市中央卸売市場（福島区）で宣伝しました。

以下は、清水議員のSNSでの投稿です（写真も清水議員のSNSより）。

「大阪市が廃止されることを知らなかった」、「大阪『都』になると信じとった」。そんな方々も含めて仲卸のみなさんと対話できました。「住民投票？お前らどっちや！」とすごまれ、恐る恐る「反対です」と答えると「ワシも反対や！大阪市なくすとか考えられんわ！もっと頑張らんかい！」と激励を受けました。

オルグの皆さん 奮闘レポート

みんなよく考えている

港区に入っている兵庫・大野聖美さん

地元の兵庫県、東灘・灘・中央地区からの宣伝隊の受け入れを担当しています。喜田結晶議、松本則子、西理、味口俊之各市議の地区内の全議員をはじめ、累計で50人を超える支援隊が入っています。地区では120人を目標にさらに支援を強めようとがんばっています。

宣伝に参加した人からは、対話が面白いとの感想が寄せられています。今日の午前中に味口市議が対話になった青年は、「祖父母が反対というし、自分も反対かなと思うが、わからないところもある。教えてください」と声をかけてきたそうです。夕立の宣伝では、サラリーマン層の反応は薄いのですが、ピラはよく受け取ってくれ、みんなよく考えているのかなと思います。

私が宣伝に参加したときは、「自分は維新支援者やけど『都構想』は反対」と声をかけていきました。最後までしっかりと訴えを届けることが大事だと思います。がんばります。

情勢日々変化 伸びしろある

東住吉区に入っている奈良・青木光治さん 橿原市から毎日、東住吉区に通っています。つばぜり合いで、日々情勢が変わっていると感じます。公明党のポスターが貼ってある家の前で宣伝しても何も起こらなかったのが、山口代表が大阪に来て締め付けが強まると、遠くの家から出てきて「やかましい」と妨害する。そうかと思うと、私たちが宣伝していたら勤め帰りのOLがマイクを握って「大阪市をつぶしたら、市民プールが減り、水道料金が値上げされる」と訴えてくれました。

対話すると「若い人のためには大阪は変わらんとあかん」と漠然と期待する人、「吉村さんに期待する」という人にもよく出会います。「大阪市をなくしていいのかが問われていることをもっと知らさないといけません。中南和地区からの電話では「分からん」という人が相当数いました。伸びしろがあるな、と思いました。しかしテレータの割り当ては4600人だが、やっと1000人を超えたところ。地方議員の現地への応援も足りません。

ここも高齢化が進んでいますが、ピラ配りから宣伝から何から何まですごく元気でやっておられる。私がマイクを握ると喜んでくれます。張り切ってやっています。

支援も地元もがっちりスクラム

東成区事務所ニュースから

京都中丹地区から福知山市議の方々をはじめ6人が支援に駆け付けてくれました。午前中は中丹地区の5人と大東から駆けつけた3人とともに地元の2人が合流し、鶴橋ガード下でスポット宣伝を行いました。

対話では、「大阪府と特別区の関係はどうなる？」「暮らしはよくなるの？」などの質問が多く出る一方、「私も反対です」とピラを受け取ってくれる人もいました。

20近畿ブロック事務所ニュース

Tel06(6975)9111 Fax06(6975)9115

【府県・地区・地方議員御中・部内資料】

No. 56(2020.10.22)